

服のチカラ

世界を良い方向に変えていく



09 障がい者雇用
ともに働き、ともに生きる

MADE FOR ALL  

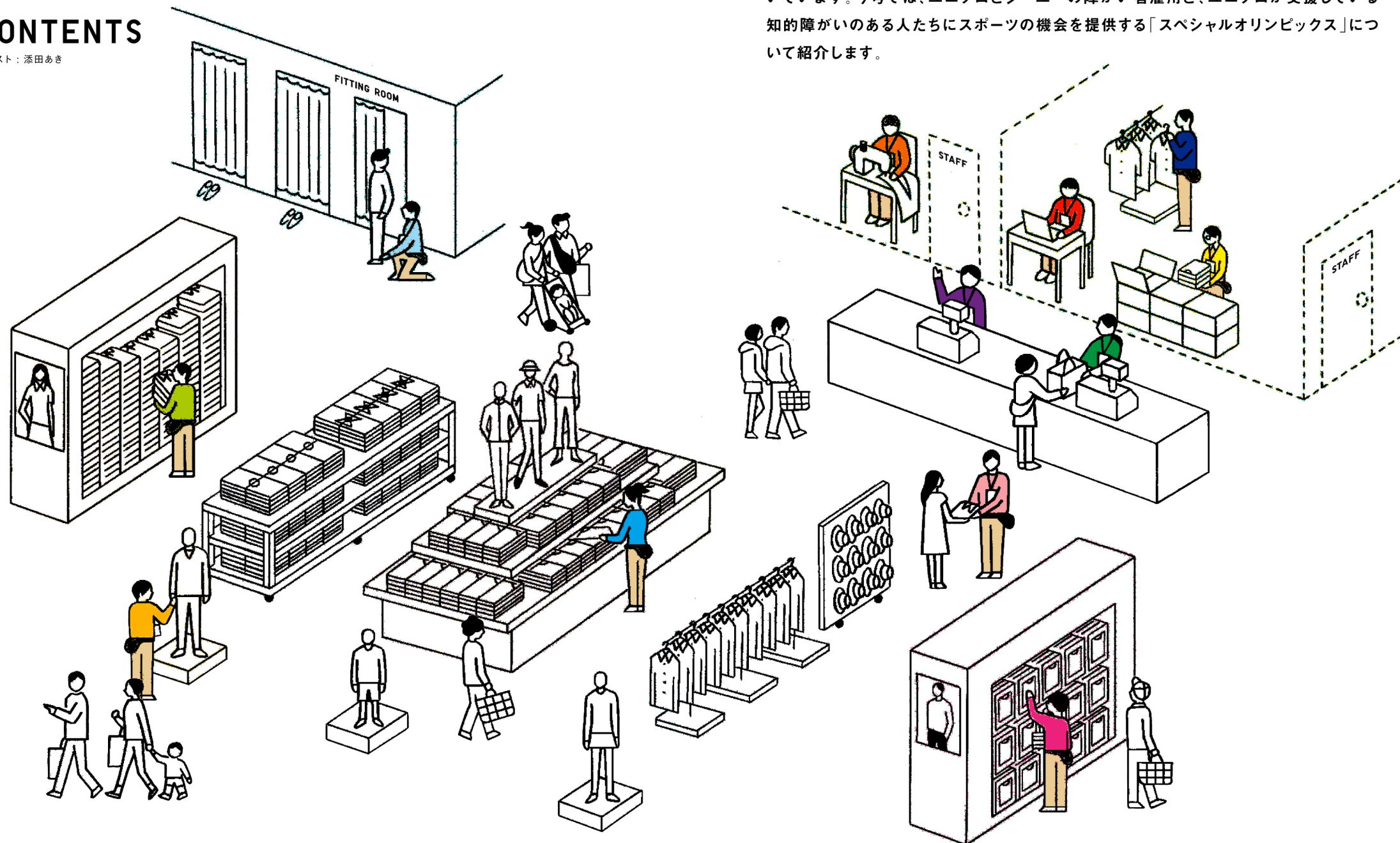
CONTENTS

イラスト：添田あき

- 04 仲間として働くということ
- 11 障がい者雇用をグローバルに展開するために
- 12 「スペシャルオリンピックス」とは？
- 14 スペシャルオリンピックス日本
冬季ナショナルゲーム・福島
- 15 FROM FAST RETAILING

障がい者雇用 ともに働き、ともに生きる

ユニクロの店舗には、お客様が普段目にする以外にも、たくさんの種類の仕事があります。トラックで運ばれてくる大量の商品を段ボールから取り出す。商品をハンガーにかけサイズ表示を付ける。店舗内外の清掃作業。これらの仕事を、全員で分担、協力して行います。店舗では、年齢や個性が異なるスタッフも、障がいのあるスタッフも、仲間として一緒に働いています。今号では、ユニクロとジーユーの障がい者雇用と、ユニクロが支援している知的障がいのある人たちにスポーツの機会を提供する「スペシャルオリンピックス」について紹介します。





仲間として働くということ

日本国内のユニクロでは2001年から障がい者雇用に取り組んでいます。一方、海外の店舗やユニクロ以外のグループ企業では、まだ取り組みはじめたばかり。世界の店舗で活躍するスタッフの姿を通じて、異なる個性がともに働くことの意義、企業に求められる役割について紹介します。

ユニクロには今、世界に1,000を超える店舗があります。日本国内が849店舗と最も多いのですが、海外の店舗もすでに11カ国、234店舗(2012年2月末現在)。毎日、たくさんのお客様がご来店くださいます。そこでは日本のユニクロと同じように多くのスタッフが働いています。まさに世界がひとつになり、国や地域という枠組みを超えて、誰もが自由に活動する時代。そこで私たち企業に求められることは何でしょうか。それは「社会にとって良

い企業」であること。これが何よりも大切なことだとユニクロは考えています。この姿勢に日本国内、海外の区別はありません。そうした考え方に立って、ユニクロは世界中のどの店舗でも、ユニクロの従業員の一員としてお客様や社会に貢献できる人、そのために必要な能力・人柄を備えているという基準で人材を採用しています。障がいのあるスタッフも、もちろん例外ではありません。日本国内だけでなく、海外でも障がい者雇用の取組みは進展し

ています。韓国では2010年10月からスタート。韓国社会に貢献していくために、現地の関連機関とも連携を図りながら、日々努力を重ねています。今年からはシンガポール、マレーシア、台湾でも取組みが始まりました。今後はさらに多くの国や地域で活動を加速していきます。よりグローバルな視点で障がい者雇用に取り組み、世界中で社会から必要とされる企業になりたいと考えています。

ユニクロの障がい者雇用

日本のユニクロ店舗では、下記のような体制・基準のもと、障がい者雇用に取り組んでいます。

店舗スタッフの採用基準と雇用形態

採用する際は、お客様や社会に貢献できる能力、人柄を備えていることが第一です。また、ほかのスタッフと同じ環境で仕事をするため、通勤や食事などの日常生活を単独でできること、就労時間を無理なく勤務できることが採用基準になります。準社員として採用し、休暇や保険などの処遇は、ユニクロが定める規定に準じます。

雇用形態

- ・週30時間以上の勤務
- ・休日はシフト制
- ・半期ごとに契約更新、就労時間の見直し
- ・社会保険、雇用保険に加入

主な仕事内容

店長と面談をし、個々の能力が一番発揮できる仕事、やりがいをもてる仕事を担当します。店舗内に多種類の仕事があるので、複数の仕事にチャレンジしたり、ステップアップすることも可能です。全スタッフの採用は店長に権限があり、育成責任も店長にあります。スタッフに仕事を任せるにあたり、できない理由ではなく、どうしたらできるのかを考え、職場環境を整えます。

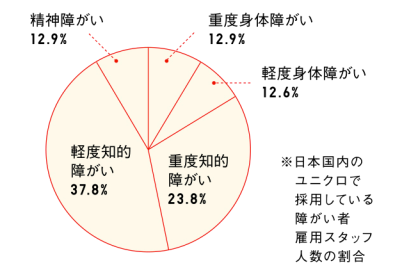
店舗での仕事例

- ・商品補充準備
- ・サイズ表示の取り付け
- ・商品の補正(据上げ)
- ・荷受け
- ・お客様対応
- ・商品の陳列、補充、整理
- ・清掃
- ・店舗内表示の取り付け

障がいのあるスタッフが活躍できる職場

ユニクロには、スタッフ同士が互いに助け合いながら仕事をする環境があります。また商品数が多く回転率も速いため、売り場にも店内倉庫にも多くの作業があり、どの仕事にも、正確さ、スピード、責任感が求められます。これらの仕事をスタッフ全員が協力して効率よく進められるよう、明確な作業分担・適材適所の配置を行っており、障がいのあるスタッフも、自分の能力が活かせる作業を担当し活躍しています。

スタッフの障がいの種類



社外の機関・ユニクロ本社との連携

全国の地域障害者職業センター、就業・生活支援センター、ハローワークなどと連携し、職務試行法やジョブコーチ支援事業などの制度も活用しながら、障がい者雇用を進めています。ユニクロ本社は、成功事例や失敗事例の集約・共有、職場実習の調整、啓発活動などを行い、店舗をサポートします。

これからできること、やるべきこと

事業の展開・スピードに合わせて、ユニクロ以外のグループ企業でも、障がい者雇用を進めていきたいと考えています。2011年からは、海外のユニクロ店舗でも、本格的な取組みがスタートしています。



OSAKA

ユニクロ
あべのキューズモール店

川口秀人さん

両三指(拇指含む)機能障がい

障がいも自分の一部。
そう認めることで前進できた

ユニクロ あべのキューズモール店がある天王寺、阿倍野は大阪のシンボルとして全国に名高い通天閣のすぐ近く。いかにも商都・大阪らしい活気にあふれた街だ。

川口秀人さんは昨年3月からこの店舗で働く。「両三指(拇指含む)機能障がい」。親指、人差し指、中指の3指がほとんど動かない。訓練でなんとか日常の用は足せるようになったが、動作にもものすごい力がある。時間もかかる。

ユニクロに興味をもったのは、英語の力が活かせるかもしれないと思ったからだ。専門学校を終えた21歳のとき、イギリスに語学留学した。イギリスの人たちは「障がいはあなたの個性なんだから、自信を持ちなさい。恥ずかしがることは何もない」。そう言ってく普通に入ってくれた。障がいがなおらないものであるなら、避けても仕方がない。しっかりと向き合っていかなければならない。そう思うようになったという。

1年半ほど前から手話の勉強を始めた。「僕は見た目は障がい者には見えません。周囲の人が僕の障がいに気づいたときの『えっ?』という反応は、正直言えば今でも怖い。もしかしたら聴覚障がいの人も同じ気持ちかもしれないなど」。パラリンピックなどの国際大会の現場では、英語と手話の両方ができる役割も必要なのは—そんな考えもあった。自分にできることは何でもやってやろうと思ってい

る。店舗では店内倉庫の管理が主な仕事で、商品の補充や陳列のため店頭にも出る。得意の英語でご案内することもしばしばある。将来、一度は海外で仕事をしたい。そのためにもユニクロでさまざまな仕事を習得して、チャンスをつかみ取りたい。そう思っている。



TOKYO

ユニクロ
アトレ秋葉原1店

白井邦子さん

聴覚障がい

プロ並みの洋裁の腕前で
店舗で活かしています

アニメやゲームなどの“聖地”として今や世界的な観光地となった「アキバ」。白井邦子さんが働

くユニクロ アトレ秋葉原1店はJR秋葉原駅の駅ビルの中にある。場所柄、売場は小さいが、お客様はひっきりなし。特に週末の店内はにぎやかで、補正(裾上げ)の仕事も一日中忙しい。白井さんは聴覚障がいで、耳が聞こえない。そのため言葉もうまく発音できない。コミュニケーションは口話(口の形を読み取ること)と筆談が中心だ。

白井さんの趣味は洋裁や手芸。娘さんは3歳のときからパレエを習っていて、高校時代にはコンクールで入選したほど。衣装を縫うのはいつも白井さんだ。娘さんの身体に合わせて、何度も何度も仮縫いをしながら上げていく。「お母さんの縫った衣装以外は着られない」と言う言葉がずっと励みになってきた。この店舗はなにしろ忙しいから、ミシンのうまい白井さんは頼りになる人材である。この店舗で働いて1年、娘さんの衣装で鍛えたミシンの腕前が、今、ユニクロの仕事で存分に発揮されている。



TOKYO

ジーユー
京王八王子店

貝田哲朗さん

知的障がい

服が好きで好きで
たまらない!

店舗で働く障がい者はユニクロだけでなく、グループ企業のジーユーにもいる。ジーユー 京王八王子店のスタッフ、貝田哲朗さんが入社したのは2年前。服が好きで、ファッション関係の仕事に就きたいと思ったのが動機だ。「店に着ていく服は前の晩に全て考えておきます。まずトッ

プスを決めて、ボトムスを合わせ、最後に靴下でアクセントを付けます。靴下が大好きで、つい買いすぎるので母にいつも怒られます」。

午前8時15分に出勤し、まず店舗のパソコンの電源を入れる。掃除をして、店舗に届く商品があれば荷受けの作業。商品をビニール袋から取り出し、ハンガーにかけ、まとめてラックに乗せて店頭に出す。自分の仕事をキッチリこなすのはもちろんだが、「教え方がうまい」というのが周囲の貝田さん評だ。新しく入ってくるスタッフに店内の清掃や品出し、ゴミ捨てなどの仕方を丁寧に教え、自分は他の仕事をこなしつつ、合間にスタッフの仕事ぶりを確認する。

この夏、大阪に旅行に行く計画を立てている。生まれて初めての1人旅である。ジーユーで最初の大型旗艦店、ジーユー 心齋橋店を見に行くのが楽しみで、わくわくしている。





国・地域に貢献できる 企業を目指して

SEOUL

ユニクロ 新林店 / ユニクロ 竜山店

躍進著しい韓国の首都・ソウル。街を歩き交う人の姿も自信にあふれて見える。韓国国内のユニクロは76店舗(2012年5月末現在)に達し、そのうち22店舗で、40名の障がいのあるスタッフが働いている。店舗数の増加とともに、障がいの者の活躍の場も増えている。

ハン・ジョンボンさん
知的障がい

I love UNIQLO!

ハン・ジョンボンさんがユニクロ

新林店で働き始めたのは昨年1月のこと。ソウル市の南部、地下鉄2号線沿いのショッピング街にある店舗だ。毎週月曜日から金曜日まで毎日出勤する。店舗に届いた商品を段ボールから出したり、防犯タグを取り付けたり、ハンガーにかけたり。そのほかにも、店頭でお客様から声をかけられれば、自分でご案内もする。「まわりのスタッフも良してくれるし、辛いことはないです。段ボールを担ぐのがちょっと重いかな」。

休みの日は、お給料で買った

「機動戦士ガンダム^{*1}」のプラモデルを組み立てたり、家で「ONE PIECE^{*2}」や「NARUTO^{*3}」を読んだり。K-POPグループ「少女時代」のファンである。「ユニクロの服はカッコいいし、着ているとスリムに見える。アイ・ラブ・ユニクロです」。

オム・ジュンピルさん
知的障がい

**初のお給料で
服も買いました**

「社会に出て働くのはユニクロが

INTERVIEW

FRL Korea CO., LTD. Co-CEO アン・ソンス



障がい者雇用を進めることで、「みんな一緒に働くのだ」という意識が高まり、従業員の雰囲気がとても良くなりました。障がいの人も1人の社会人として働いて社会に貢献できるのだと自信がもてるようになったと思います。社会と企業が一緒に成長していけるような関係をつくるのが最も大事だと考えています。

FRL Korea CO., LTD. Co-CEO 果瀬聡



「服のもつ力で世界を良い方向に変えていく」のが私たちの基本的な考え方です。グローバルなブランドとして韓国社会の課題解決に貢献するのは当然のことです。ユニクロの障がい者雇用は韓国障害者雇用公団のご協力もあって、採用後の離職者も少なく、取組みは順調に進んでいます。今後も私たちは韓国社会の期待に応えていきたいと思っています。

初めてです。初めてお給料をもらったとき、すごくうれしかった。お客様のためにもっと努力します」と話すのは、ユニクロ 竜山店のスタッフ、オム・ジュンピルさん。ハンさんとは同期入社で、親友でもある。店舗のある竜山は東京の秋葉原のような電気街で知られる。外国の大使館も並ぶ異国情緒あふれる街だ。外国人のお客様も多い。「ユニクロで働いて楽しいのは、いろんな人と知り合えること。1人でやる作業ではないので、人間関係を学ぶことができます。お客様に接するにはCS(顧

客満足)が大切とか、サービスの基本も勉強できました」。高校時代に第二外国語で学んだのがきっかけで日本語の勉強もしている。「今後はもっと積極的に店頭に出て、商品整理や接客にも挑戦してみたい」と意欲を見せる。韓国には政府の関連機関である韓国障害者雇用公団という組織があり、障がい者雇用に大きな役割を果たしている。企業に障がい者の人材を紹介するほか、採用前の研修や採用後のフォローも行っている。韓国で障がい者雇用を進めるユニクロ

の重要なパートナーでもある。同公団ソウル支所、キム・サングさんは「韓国では障がい者は保護するものという意識が強く、障がい者も働けるということに対する理解が足りないのが現状です。ユニクロのような企業が積極的に障がい者を雇用することで、良い前例ができて、私たちの仕事にも大きな助けになっています」と話す。韓国社会の変化は速い。あらゆる人が自分の個性を活かして働ける社会の実現に向けて、確実に動き始めている。



足りない商品を補充するハン・ジョンボンさん



接客にも挑戦したいというオム・ジュンピルさん



CSR担当のチョウ・イルハンさん(右)は、スタッフの良き相談相手



韓国障害者雇用公団のキム・サングさん(写真中央)らと定期的な打ち合わせの場を設けている



始まったばかりの障がい者雇用を 地域社会とともに促進

SINGAPORE

ユニクロ 313@サマセット店

モハammad
シャイフー ビン
サヒッドさん
知的障がい
働くことが本当に楽しい

北緯1度、ほぼ赤道直下の大都市、シンガポール。ユニクロ 313@サマセット店は、そのメインストリート、オーチャードロードに面するショッピングモール「313@サマセット」にある。400坪の売場面積をもつシンガポール初の大型店舗だ。「朝礼ですよー、皆さん集まってくださいー」。オープン前の店内にモハammad シャイフー ビン サヒッドさんの声が響く。それを合図にスタッフがレジ前に整列する。店舗の忙しい1日はここからスタートする。

シャイフーさんがユニクロに応募した動機は「もっと多くの人と一緒に働きたい」と思ったからだ。以前、障がいのある人を支援するためのカフェテリアでキッチン補助的な業務をしていた。仲間との仕事は楽しかったが、より多くの人と知り合い、もっと広い社会と触れてみたい。そう思ってユニクロの仕事に飛び込んだ。店舗では主に店内倉庫で商品を梱包から取り出し、ハンガーにかけたり、サイズ表示を取り付けたりといった仕事をこなす。「お客様やスタッフ、さまざまな人に出会えるのでとても楽しい。新しい友達もたくさんできました」。「シャイフーさんは仕事がとにかく速いんです。サイズ表示の取り付けのスピードはスタッフ内でもトップクラス。とても積極的で、仕事が早く終わると『もっと仕事

をください』と言われる」と店長のジャネット・ウォンさん。「将来の希望は?」と質問したら、即座に「もっと勉強してマネジャーになりたい」との答えが返ってきた。このポジティブさで、シャイフーさんなら新しい仕事や道にも、挑戦していけるに違いない。



INTERVIEW

UNIQLO (SINGAPORE) PTE.LTD.
Co-CEO アルバート チュー



シンガポールとマレーシアにおいて、障がい者雇用に取り組んでいるアパレル企業は非常に少ない状態です。そうした中でユニクロは、事業を展開する地域に対して貢献することをミッションに掲げ、より良い社会の実現に向けて、さまざまな活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

UNIQLO (SINGAPORE) PTE.LTD.
Co-CEO 小野口 悟



障がいのある人たちと一緒に働くことで、スタッフの間に他者に対する配慮や思いやりの心が一段と強く意識され始めたことは、日本での取組みと同じです。社会貢献の大切さを言葉だけでなく、スタッフが行動で表すことに意味があると思います。活動は始まったばかりですが、シンガポール、マレーシアともに息長く続けていきます。

UNIQLO JOURNAL

障がい者雇用を グローバルに 展開するために

文・田中信彦

マーケットでの自由な競争にまかせてしまうと、障がいのある人は、その障がいがあるために、なかなか企業では雇用されにくいのが現実だ。これは世界的にほぼ共通の状況である。だから、どうやってその問題を克服し、障がい者の仕事の場を増やしていくか、さまざまな方法が試みられてきた。そこには大きく分けて2つの考え方がある。ひとつは、障がいのある人を雇用することを、社会的な責任として企業に要求するやり方だ。日本も基本的にはこれで、障害者雇用促進法という法律で「法定雇用率」*を守ることが求められている。日本以外でもフランスやドイツ、イタリア、オーストリア、中国、韓国などの国でこういったアプローチが採用されている。もうひとつの考え方は、個人の平等、機会均等という大原則に立ち、障がいを理由とする雇用差別を厳しく禁止するという考え方だ。障がいのある人も健常者も、生活の全ての面で平等の機会が与えられるべきであり、障がい者の雇用は一般の雇用と同じ枠組みの中で考えられている。企業に障がい者の雇用を義務づけるのではなく、障がい者に対する合理的な配慮を義務づける。そのうえで、障がい者も1人の個人として何ができるかが問われる。もし企業が合理的と認められる配慮をおこなった上でも、その障がい者が会社の利益になる力を発揮できなければ、仕事の場を得られなくても仕方がない。そういう考

え方である。アメリカやイギリスではこうした考え方が支配的であるとされる。これは発想の違いだから、どちらが正しいとか間違っているという話ではない。世界中のそれぞれの社会で、障がい者が暮らしやすい社会をつくるためにどんな方法が有効か、その判断にはいろいろあるということである。日本でのユニクロの障がい者雇用は法定雇用率の1.8%を大幅に上回る7.19%に達しているという。これは素晴らしいことである。でも、もしかすると世界の他の場所では、ユニクロとは違うモノサシで障がい者の雇用について考えているかもしれない。現実には2006年12月、第61回国連総会において障害者権利条約が採択されたように、世界はゆっくりとだが、確実にひとつの方向に向かっていく。それはたとえば、自立の尊重、人間の多様性、差異の尊重、人間性の一部としての障害のある人の受容、機会の平等といったようなことである。こうした基本的な価値を尊重し、世界中で多様な働き方を誰もが認めていける社会の雰囲気をつくる。それがグローバルに活動をする企業としての責任であり、世界中の人々から尊敬され、歓迎される企業の条件である。そのためアプローチにはいろいろあっていい。目指すべき方向さえ間違わなければ、必ずゴールはある。大切なのは前に進むことである。

田中信彦 — 経済ジャーナリスト。中国を主なフィールドに、HR (Human Resource) 領域に精通。企業の中国事業に対するアドバイザーを務めるほか、雑誌等への執筆、各種セミナーなどでの講演も多数。

*「障害者雇用促進法」により、民間企業、国、地方公共団体に対して定められた障がい者雇用率
民間企業の法定雇用率の母数は「常用雇用労働者÷短時間労働者×0.5」とし、現在は1.8%。2013年4月からは2.0%に引き上げられる

「スペシャル オリンピックス」とは？

スペシャルオリンピックスは、知的障がいのある人たちにスポーツの機会を提供する、国際的なスポーツ組織です。大会のほか、年間を通じてさまざまなプログラムを世界各地で展開。知的障がいのある人たちが、スポーツを通じて社会に参加すること、またボランティアや地域の人々と交流し、障がいの有無を超えてお互いの理解を深めることを目指しています。

大会は4年に1度の晴れ舞台！

日頃の練習の成果を発揮する大会は夏季と冬季があり、4年に1度、国内大会と世界大会がそれぞれ開催されます。次回は、2013年に韓国で、冬季世界大会が開催される予定です。



© Special Olympics Nippon

日本国内の活動を推進する 「スペシャルオリンピックス日本」

スペシャルオリンピックスの国際本部はアメリカにあり、日本国内の活動は、国際本部から認証を受けた「スペシャルオリンピックス日本」が推進。女子マラソン五輪メダリストの有森裕子さんが理事長を務めています。ユニクロでは、2002年よりスペシャルオリンピックス日本のオフィシャルパートナーとして、国内外の大会におけるユニフォームの寄贈や従業員のボランティア参加など、支援活動を行っています。



アスリート 全員が表彰台へ！

大会に出場し、日頃の練習の成果を発揮した全てのアスリートを称え、全員が表彰されます。金・銀・銅メダルに加えて8位までリボンがあり、表彰台も最大8段！順番に全員が表彰台にのぼり、一人ひとりメダルやリボンを受け取ります。失格した場合も、参加賞が贈られます。

© Special Olympics Nippon

「アスリート」の参加資格は？

知的障がいのある人で、日常的なプログラムは6歳以上、大会は8歳以上なら、「アスリート」として参加できます。現在、スペシャルオリンピックスの組織は、世界175カ国に広がっており、アスリート数は約370万人にのぼります。



オリジナルの 競技もあるの？

冬季大会の「フロアホッケー」はスペシャルオリンピックスのオリジナルの競技です。雪の降らない国や地域でもできるよう、アイスリンクではなく体育館で行うのが特徴です。



ユニフォーム のチカラ

ユニクロは、世界大会では日本選手団に、国内大会ではボランティアスタッフに、ユニフォームを寄贈しています。数日前までは他人同士でも、同じユニフォームを着ることで、一体感や団結力が生まれます。ユニフォームには、心と心をつないでくれるチカラがあります。

© Special Olympics Nippon

大会開催を復興のチカラに スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・福島

東日本大震災から1年余りの2012年2月、冬季ナショナルゲームは福島で開催されました。その様子を、大会に込められた思いとともに紹介します。

「大会開催を復興の道標にした」。東日本大震災から1カ月、大会準備再開に向けて、最初に立ち上がったのは、福島実行委員会のメンバーたちでした。メンバー自身も被災し、準備は白紙に近い状態からの再スタート。施設は整備できて、人が来てくれないかもしれない。そういう不安もありました。それでも、必ずこの地で開催したい。その気持ちだけは、ゆらぐことがありませんでした。会場を整え、安全性を確認し、ついに迎えた開催当日。大会を心待ちにしていた選手団とボランティア、約4,000名が、全国から福島に集まりました。

普段は宮城県のユニクロ南吉成店で働く、アスリートの中村美穂さん(写真a)も、大会を楽しみにしていたひとりです。「大会では大勢の人が応援してくれる。それが一番うれしいです」。ボランティアには、地元・福島からも約1,400名が参加しました。森田健一さん(写真b左)は、被災した故郷を目の当たりにするなかで、自分にも何かできることがあれば、と参加。会場に来れなかった仲間や家族の分まで、心を込めてアスリートを応援します。島達哉さん(写真c)は、地元のイベントには、いつも引っ張りだこという存在。「『ボランティア』と

いう特別な感じではなく、困っている人がいたら助ける。そういうことが、この地域には根づいていると思います」。ひときわ大きな歓声に包まれる表彰式。スペシャルオリンピックス日本 理事長有森裕子さん(写真d)は、大会をこう振り返ります。「震災に屈せず開催できたのは、福島の人々の熱い思いがあったから。この地だからこそ、強い団結力も生まれたように思います」。復興への願いを「大会」という形で、みんなで叶えた今大会。ここから生まれた勇気や希望が、次の一步を踏み出す、チカラになると信じています。



FROM FAST RETAILING

世界中で必要とされる 企業になりたい

ユニクロの障がい者雇用率は、最初から高かったわけではありません。2001年の時点では1.27%程度でした。しかし、実際に障がいのあるスタッフが働いている店舗では、予想を超える変化があらわれていました。たとえば、聴覚障がいのあるスタッフが働く沖縄・那覇の店舗では、障がいがあることで、そのスタッフは誰にも増してお客様の求めるものを敏感に感じ取り、対応していました。一緒に働くスタッフも、障がいのある仲間が何か困っていることはないか、常に相手の立場に立って考えるようになりました。その姿勢はお客様に対しても、実は同じです。こうしてサービスの質が上がっていました。そんな経験を経て、全店舗で障がい者雇用を進めようと決めたのです。

ユニクロが最も重視しているのは、全ての従業員は同じチームの一員であることです。確かに障がいのあるスタッフにはできないこと、難しい仕事があるのは事実です。しかしユニクロには多種多様な仕事があります。障がいの内容や能力に応じて、やりがいのある仕事を見つけて努力できる環境があります。そして、店長以下、スタッフ全員がそれをフォローしていくマインドがあります。

一人ひとりを尊重し、個人・企業・社会がともに成長できるよう環境を整え、グローバルな視点で、革新的な仕事ができる人材を育成する。これがファーストリテイリングの「人」に対する基本的な考え方です。世界のどこでも、この会社で働く人々が「自分は大切にされている」と感じ、仕事が楽しいと感じられる企業を目指してチャレンジを続けます。

そうすることで、世界中で人々から必要とされる企業になりたいと私たちは考えています。

「服のチカラ」でこれまでに取り上げたテーマ

- vol.01 障がい者と働くということ(右:表紙写真)
- vol.02 HEATTECHが生まれる場所
- vol.03 全商品リサイクル活動
- vol.04 瀬戸内オーリーブ基金とユニクロ
- vol.05 ソーシャルビジネスって何だろう?
- vol.06 世界中のあらゆる人々に、「本当に良い服」を
- vol.07 日本で世界で、今、服ができること
- vol.08 ソーシャルビジネスの未来



Vol.01 障がい者と働くということ

「服のチカラ」は、ユニクロ店舗で配布しているほか(なくなり次第終了)、下記WEBサイトからもご覧いただけます。

www.uniqlo.com/jp/csr

300万着 足りません。



MADE FOR ALL

ユニクロが行う「全商品リサイクル活動」のパートナー、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)から、300万着の服を世界中の難民キャンプなどに届けたいという要請がありました。どうか、ご不要になったユニクロの服がありましたら、お近くの店舗までお持ちください。8月31日までにおあずかりできれば、秋から冬にかけて届けることができます。みなさまのご協力、心から感謝いたします。



ヒートテックはありませんか。

ヒートテック、フリース、ダウンなどの冬服はありませんか。寒い冬を乗り切る一着となるはずです。



Tシャツはありませんか。

Tシャツ、ポロシャツなどの夏服をお願いします。気温の高いアフリカの国々を中心に届けてまいります。



子ども服はありませんか。

シャツ、ズボン何でも結構です。裸の子どもが一枚着ることで、防げる病気やけがもあります。

写真：上岡伸輔

おあずかりした服は私たちが責任を持って、ケニア、エチオピア、南スーダン、ネパール、キルギス、そして世界各地のアフガン難民やソマリア難民のキャンプなどへお届けします。

UNIQLO RECYCLE

私たちユニクロは、UNHCRとのパートナーシップのもと「全商品リサイクル活動」に取り組んでいます。まだ着られる服は世界中の難民、避難民などへ寄贈し、傷んだ服は工業用繊維の材料などにリサイクル。「服のチカラ」を世界中で最大限に発揮するために、私たちはこれからも「全商品リサイクル活動」を進めてまいります。ユニクロ・ジーユーの服は、いつでも店頭にお持ちください。みなさまのご協力、よろしくお願いたします。詳しくは、各店舗 / WEBでご確認ください。www.uniqlo.com/jp/csr

